

# 令和5年11月臨時会 提案説明要旨

## (はじめに)

関西広域連合議会令和5年11月臨時会の開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

世界から関西への関心が高まる「大阪・関西万博」の開幕まで555日となった10月6日、関西広域連合が出展準備を進める「関西パビリオン」の起工式を行いました。岡本関西広域連合議会議長をはじめ、酒井経済産業副大臣など、多数の関係者御列席のもと工事の安全を祈願するとともに、機運醸成を図りました。

こうした中、9月の訪日外客数が、コロナ前の令和元年同月比で9割を超えるなど、人の流れは顕著に回復しています。好循環の流れを様々な分野に波及させながら、ポストコロナにおける関西の持続的な発展に向け、全力で取り組んでまいります。

さて、関西広域連合は、まもなく設立から13年を迎えます。広域行政を担う責任主体として、新型コロナウイルス感染症対応などで着実に成果を上げてきた一方で、国の事務・権限移譲については大きな成果は得られていないなど、分権型社会の実現は道半ばです。これまでの実績を踏まえ、関西の高いポテンシャルを生かし、人口減少への対応、東京一極集中の是正、持続可能な社会づくり、イノベーションやデジタル化の推進、広域インフラ整備といった関西の諸課題の解決に、引き続き力を注いでまいりますので、議員各位の一層の御指導、御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、8月定例会以降の主な取組について御報告します。

## (大阪・関西万博)

第1は、大阪・関西万博に関する取組です。

関西パビリオンの全体運営計画や、パビリオン中央部に位置する大関西<sup>だいかんさい</sup>ひろば<sup>ひろば</sup>の展示設計の検討を進めるとともに、WEBパビリオンの制作を行う事業者を選定しました。

また、開幕500日前となる今月30日の前売入場券の発売開始に向け、ツアーリズムEXPOへの出展や機運醸成セミナーの実施といった取組を展開しているところです。引き続き、構成府県市・連携団体等と協力し、関西一丸となって機運を盛り上げてまいります。

### **（新型コロナウイルス感染症への対応）**

第2は、新型コロナウイルス感染症への対応です。

約3年間に及んだ新型コロナウイルス感染症対応の成果や課題、関西広域連合としての今後の取組の方向性を明らかにするため、関西広域防災計画策定委員会の専門部会において、外部有識者や構成府縣市等とともに、これまでの感染症対応に係る体制等の検証を行っています。

また、将来、新たな感染症が発生した際にも、迅速かつ的確に関西全体で対応できるよう、この検証を踏まえた「関西防災・減災プラン（感染症対策編）」の改訂を進めているところです。

### **（広域観光・文化の振興）**

第3は、広域観光・文化の振興です。

広く関西の魅力ある文化に触れていただく秋の恒例イベントとして、関西圏域の400を超える美術館や博物館の協力のもと、常設展の入館料を無料とする「関西文化の日」の取組を、11月18日、19日を中心に実施しています。

また、関西の伝統芸能や生活文化を親子で学習する伝統文化教室を今年度も実施し、オンライン開催と会場で学ぶリアル開催を通じ、次代を担う子どもたちが構成府縣市の文化に親しむ機会を創出してまいります。

### **（持続可能な関西の実現）**

第4は、持続可能な関西の実現です。

今夏の記録的な猛暑、近年の台風や大雨による災害の激甚化・頻発化など、気候変動による災害リスクの高まりが危惧されています。こうした問題に対処するため、国が宣言した「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指す取組を、関西広域連合としても推進していく必要があります。

令和3年度に発出した「関西脱炭素社会実現宣言」を踏まえ、脱炭素社会の実現に向けた主体的な行動への機運醸成を図る取組として、11月21日に、企業や団体、住民、行政など多様な主体が一堂に会する「関西脱炭素フォーラム2023」を開催します。

また、次世代エネルギーとして期待される水素について、令和元年度に策定した「将来における関西圏の水素サプライチェーン構想」実現のための取組として、9月に、産学官が参加する水素エネルギーセミナーを開催しました。さらに来月にも、水素・燃料電池、蓄電池等のカーボンニュートラルに資する技術をテーマに、大学、研究機関と民間事業者とのマッチングを目指すフォーラムを実施します。

## （広域インフラの整備促進）

第5は、広域インフラの整備促進です。

去る10月27日、「北陸新幹線整備促進シンポジウムin関西2023」を大阪市内で開催し、会場とオンライン視聴を合わせて約350名の方に御参加いただきました。

今月30日には、北陸新幹線敦賀・大阪間の建設促進大会及び中央要請を行い、1日も早い大阪までの全線開業に向けた機運醸成と政府や関係省庁に対する要請を実施します。

## （広域的な流域対策）

第6は、広域的な流域対策です。

「大阪・関西万博」が近づく機会を捉え、今年度から令和7年度にかけて「いのち育む“水”のつながりプロジェクト」を推進します。このプロジェクトを通じて水を皆で守り、継承していく機運を醸成するとともに、気候変動等の影響に伴う流域の課題への対応策等について国内外に発信してまいります。もって、流域に関わるあらゆる主体や世代がつながり、自主的に水を守るために行動する社会の形成を目指します。

今月26日には、プロジェクトの一環として「TEAM EXPO 2025」<sup>チーム エキスポ ニーゼロエネゴー</sup>パートナーとして参加する「ごみゼロ共創ネットワーク」との共催により、十三付近の淀川河川敷での清掃活動を万博開幕500日前イベントとして開催します。

## （関西のDX推進）

第7は、関西のDX推進の取組です。

デジタル社会を推進する上で不可欠なマイナンバー制度について、国において総点検の方針が打ち出されたことを受け、9月15日に、関係省庁に対して点検に要する費用への財政的支援などの要望を行いました。

また、関西経済連合会等と連携し、毎年10月を関西広域でのDX推進強化月間とする「関西デジタル・マンス」を創設し、官民連携による様々な取組を実施したところです。12月11日には、データ利活用に向けた研究会を立ち上げるなど、経済界等と連携した、関西のDXを推進するための取組を一層進めてまいります。

## （住民参画・官民連携の推進）

第8は、住民参画・官民連携の推進です。

若者世代の関西広域連合への関心を深め、広域連合の取組の参考とするため、今年25日、大学生等との意見交換会を京都市内で開催します。「大阪・関西万博の開催を契機とした『担う関西』『動く関西』『つながる関西』の創造」をテーマに、大学生チームが政策提案を行います。私も西脇副広域連合長とともに参加し、学生の皆さんと意見を交わしてまいります。

### **(ALPS処理水海洋放出に伴う風評被害を受ける福島県を応援する取組)**

第9は、福島県を応援する取組です。

福島第1原子力発電所事故に伴う処理水の海洋放出を受け、海外での日本産水産物の輸入規制等による水産業への影響が懸念されています。

関西広域連合では、域内特産農林水産物の消費拡大運動の趣旨に賛同する企業を「おいしい！KANSAI応援企業」として登録し、社員食堂などでエリア内食材の利用等に取り組んでいただいております。この登録企業に対し、福島県産等の水産物の積極的な活用を要請しています。

さらに、構成団体においても、職員食堂での福島県産等の水産物を用いたメニューの提供による応援の取組を進めています。

### **(提出議案の説明)**

これより、提出した議案について説明します。

第14号議案は、「令和5年度関西広域連合一般会計補正予算（第2号）」の件です。大阪・関西万博に出展する関西パビリオンの整備事業について、設計・施工業務の契約を変更する必要性が生じたため、令和6年度の債務負担行為を追加するものです。

第15号議案は、「関西広域連合会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定の件」です。国家公務員の給与に関する人事院勧告等を踏まえ、会計年度任用職員に係る給料月額及び期末手当の支給割合を改定するため、所要の改正を行います。

### **(おわりに)**

本日は、令和5年8月定例会提出の第12号議案「令和4年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件」も御審議いただきます。

議員の皆様におかれましては、御審議をよろしく申し上げます。